

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
31	製品・サービス	<input type="checkbox"/> 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・災害防止・復旧工事に積極的に対応している ・千葉台風(台風15号)災害支援(屋根修繕) ・台風19号災害支援(土砂搬出等) ・除雪、雪下ろし、倒木による道路通行止め等の対処を迅速に行っている ・高齢者や子どもの目線に立った製品設計及び施工に努めている ・女性限定合同会社説明会への参加し、建設業における女性活躍の推進を図っている(長野県 産業労働部 労働雇用課主催) ・大しごと〜in 信州2019出展(信州大学)県内企業の強みや良さを知る機会、学生と社会人が気軽に対話し、職業意識を高めてもらう取組に参加している ・中学生へ行っている建設業への興味喚起事例を紹介している(建設業振興基金の機関誌への掲載) ・工業高校誌(全国誌)へ女性技術者の体験談を投稿 ・長野市東部中学校「キャリアフェス2020」に参加 ・長野市東部中学校にて資源回収用の物置を生徒と共に設置した 	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32		<input type="checkbox"/> 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した企業を目指し、地域の方の声を大切にし、貢献に努めている(地域の草刈り、泥上げ作業等の地域の活動に参加して、声を聞いている) ・工事の際、地域の方に「ご意見表」を記入していただき、地域の声に対応している。また社内で情報共有を行っている ・地域の防犯のために、会社周囲の国道・農道・市道に面した箇所に防犯灯を設置している(長野市・小川村15カ所)。また社内敷地内に防犯カメラを設置している 				4					9		11	12		14	15		17
33	社会貢献・地域貢献	<input type="checkbox"/> 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災活動に参画している ・消防団協力事業所(総務省消防庁)の認定を受けている ・会社周辺の日々のゴミ拾い、毎月1回の環境整備(ゴミ拾い、草刈り、側溝の泥上げ)、桜の植樹等を実施している ・県建設業協会長野支部で道路の美化事業(クリーン・グリーン&サポート作戦)に参加し、花の苗植栽を行っている。苗は障がい福祉サービス事業所より購入している ・次世代を担う人材(学生・生徒・児童等)へ現場見学会や職場体験を年間を通して実施している ・登録有形文化財である「薬師沢石張水路工」の草刈り等ボランティア活動に年3回参加している ・茶臼山動物園オラウータン園舎建設基金、小川村ふるさと納税、交通遺児育英基金、長野バルセイロ、ポアルース長野、長野県青少年野球連盟、犬猫殺処分防止、赤い羽根共同募金、長野市スポーツ協会、信州駅伝サポート会、長野市ふるさと“ながの”応援寄付、信州大学知の森基金、deleteC(乳がん等の癌治療薬開発)、AC長野バルセイロアイスホケーチーム、緑の募金運動等へ寄付を行っている ・ロータリークラブに加入して、ポリオ撲滅、国際親善に努めている ・「建設で献血だ！」長野県建設業協会長野支部主催献血ボランティア活動年2回参加している ・2019アキュアピア安曇野ふれあいデーに出展し、地域の方との交流を行っている 				4							11			14	15		17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
【災害時の水源提供】 ・水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する	・万が一の災害時、会社敷地内にある深井戸（ボーリング掘削、深さ90m）を地域住民に活用してもらおう。西河原区長・小市区長と「災害時における井戸水の供給協力に関する協定書」を締結している						6. b					11		13					17
【耕作放棄地対策】 ・生産性を向上させ、生産量を増やし、土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、農業を自薦する	・高齢化や過疎化によって耕作放棄地・遊休農地が増加傾向にある小川村西山地域において、耕作放棄地を活用して、地元の「西山大豆」を栽培している。収穫した大豆（収穫量2t）は村へ卸して、加工された製品を道の駅等で販売している ・害獣対策として、太陽光発電の電柵を利用している	1	2. 4							9		11	12	13			15		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）